

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 観光課  
 担当名: インバウンド担当  
 内線: 3957

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P25	ポストコロナにおけるインバウンド誘致事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	令和 5年度～ 令和 8年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-9
1 事業概要	<p>本県の強みである「東京からの近さ」を徹底的に売り込むために、民間事業者や地域を巻き込み、機運の醸成とブランディングを進めるとともに、受入体制の整備や情報発信を行いインバウンド誘致を進めていく。</p> <p>事務費の節減により生じた執行残の減額 △1,155千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング 9,568千円</li> <li>イ 「近さ」を実現する受入体制整備 116,073千円</li> <li>ウ 「近さ」を徹底的に情報発信 28,764千円</li> </ul> <p>(2) 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 都内ホテル、交通事業者、観光事業者、県内市町村等とのネットワーク構築</li> <li>(イ) 新たなキャッチコピーとロゴ製作、キャッチコピーを利用したブランドイメージの統一化</li> <li>(ウ) 「近さ」を実現するための広域エリアでの官民連携の強化</li> </ul> </li> <li>イ 「近さ」を実現する受入体制整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 埼玉観光サポートデスクの設置・運営</li> <li>(イ) メインターゲットが興味を惹く地域の特性を生かしたコンテンツの増加</li> <li>(ウ) おもてなし通訳案内士のスキルアップ支援、インバウンド実態調査</li> </ul> </li> <li>ウ 「近さ」を徹底的に情報発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 旅マエの発信情報の具体化・詳細化、旅ナカの発信情報の強化</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 事業効果</p> <p>県内で外国人観光客の受入機運が醸成され、受入体制が整備されるとともに、外国人観光客に埼玉県の魅力が伝わることで、本県の観光振興が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>国、他都県、観光関連事業者等と連携して事業を展開する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア イベント登壇者への謝金が見込みを下回ったことによる減額</li> <li>イ 事務費の節減により生じた執行残の減額</li> <li>ウ 他の自治体と共同実施する事業が一部未実施となったことによる減額</li> </ul>					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10) 事業者0								
3 地方財政措置の状況	普通交付税措置 (区分) 商工行政費(細目) 観光及び物産振興費 (細節) 観光及び物産振興費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×5.2人=49,400千円 会計年度任用職員 2,492千円 1.0人×29h/週								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,155							△1,155	154,405
現計額	155,560							155,560	

## 事業内訳書

事業名	ポストコロナにおけるインバウンド誘致事業		
単位事業名	民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング	予算額	△ 1,155千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,155	—	
合計	△1,155	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△166	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
旅費	△64	—	オンライン打合せの増加による減
需用費	△37	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
役務費	△68	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
使用料及び賃借料	△170	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
負担金、補助及び交付金	△650	—	一部事業の未実施による減
合計	△1,155	—	